

きたはら



平成25年7月19日
練馬区立北原小学校
学 校 通 信
NO. 541号



貴重な経験・体験の機会に

校長 表迫 信行

猛暑も少し和らぎ、ここ数日、朝夕凌ぎやすい日が続いております。

21日からは、子供たちが待ちに待った夏休みが始まります。すでに、各御家庭で子供たちと約1ヶ月にわたる貴重な時間の使い方について、十分に御相談をされていることでしょう。

夏休みというと、つい時間があるものと錯覚して、朝はゆっくりと起床し、夜は少し遅く就寝するという生活に陥りがちです。しかし、意外に時間の経つのは早いもので、まだ時間はあるからと思っていると、あっという間に残り数日になってしまったという話をよく聞きます。だからこそ、限られた、貴重な、この夏休みという時間をどのように有意義に過ごすかがとても大切になってくるのです。

先日、朝、集会終了後、廊下を歩いていた子供たちに、「夏休みの予定はもう立ったの。」と尋ねると、嬉しそう「うん。家族みんなでキャンプに行くんだ。」と話してくれました。また他の子供たちにも同様のことを尋ねると、「旅行」「海水浴」「ハイキング」「自宅でのんびりする」等、様々でした。子供たちにとって、何をするかは、とても重要で、まさに活動そのものが貴重な経験・体験となり、必ず事後の学習や生活に生きてきます。

私も小学生の頃、祖父母が住む鹿児島へ帰省した時、叔父に連れられ、夜遅く森の中を歩き回ったことがあります。夜の森は、とても涼しく、猛暑の夏でも爽やかな風が吹いていました。そして、突然、叔父が大きな木の幹に手に持っていた懐中電灯の光を向けたかと思うと、そこには無数の昆虫たちがいました。カブトムシやクワガタ等の昆虫たちが、木の幹から出る蜜のまわりに集まっているのです。驚いた私は、叔父に頼んで、持っていた虫かごに昆虫たちを採集してもらうと、その後、自宅へ持ち帰り、図書館で飼育方法について調べ、夏休みの間、飼い続けました。自分でも、目の前に貴重な多くの昆虫たちがいるのを見たという経験がなかつたので、採集した日は興奮して、なかなか寝付けなかったことも今でも覚えています。

私の経験は些細なのですが、どんなことでも結構です。よく子供たちと相談をしていただき、ぜひ夏休みを貴重な経験・体験の機会にしていただければ幸いです。

4月から自分の目標に向かって頑張ってきた子供たちです。少し体を休ませながら、計画的に過ごし、充実した夏休みとなるよう、教職員一同、心から願っております。

そして、9月には、ますます成長した子供たちの姿を楽しみにしております。



平成25年度 夏休み予定表

練馬区立北原小学校